

令和5年度 愛知県地球温暖化防止活動推進センターの取組み結果について

愛知県地球温暖化防止活動推進センター
(一般社団法人環境創造研究センター)

1. 地球温暖化対策等についての広報・啓発活動

A:一般市民、親子、子どもへの意識・行動変容の動機付け

① 自治体と連携したイベントへの「ブース出展」

一般市民に向けて直接的な普及啓発を行うべく、自治体主催のイベント（田原市、豊田市、名古屋市）にブース出展を行いました。



「エコフェスタたはら」



「環境ディなごや」



「とよた産業フェスタ」

② X博士の〇×クイズによる「子ども省エネ教室」の開催

小学校の児童に対し、扮装キャラクターX博士によるCOOL CHOICEの〇×クイズ、カードゲーム等、「ナッジ」を活用し動機づけに配慮した「子ども省エネ教室」を企画、実施しました。

●第1回「子ども省エネ教室」

- ・日 時：令和5年12月5日 15:00～16:00
- ・場 所：名古屋市立上社小学校トワイライト教室（名東区）
- ・参加者：児童34名

●第2回「子ども省エネ教室」

- ・日 時：令和5年12月6日 15:00～16:00
- ・場 所：名古屋市立西城小学校トワイライト教室（守山区）
- ・参加者：児童26名



③ 地球温暖化防止「親子サイエンスカフェ」の開催

地域コミュニティや、子どもとその保護者を対象として、地球温暖化防止「サイエンスカフェ」を実施しました。

●第1回

- ・日 時：令和5年12月9日（土）10：00～12：00
- ・場 所：西尾市クリーンセンター 2階研修室
- ・対 象：市内在住の親子（小中学生とその保護者）等
- ・参加者：15名

●第2回

- ・日 時：令和5年12月16日（土）10：00～12：00
- ・場 所：岩倉市役所2階 「さくらん坊」
- ・対 象：市内在住の親子（小中学生とその保護者）等
- ・参加者：20名



B: 中小規模事業者に対する脱炭素経営支援

④ SDGs AICHI EXPO 2023 イベントへの出展 & 事業者向け個別相談会の実施

「SDGs AICHI EXPO 2023」に「気候危機」や「カーボンニュートラル」に関するブース出展を行うとともに、事業者向けの省エネ個別相談窓口を開設しました。併せて「新しい国民運動」について、事業者への啓発を行いました。

- ・日 時：令和5年10月5日・6日・7日 10:00～17:00
- ・場 所：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）展示ホールA
- ・ブース立寄者：150名



⑤ 中小規模事業者向け省エネセミナー & 個別相談会の開催

中小規模事業者の関係者に対し、省エネセミナーと個別相談会を開催し、事業所のCO₂排出削減の推進とともに従業員の行動変容を促しました。

- ・日 時：令和5年10月10日 13：30～16：30
- ・場 所：西尾市商工会議所 2階 大ホール
- ・対 象：西尾市内の中小規模事業者
- ・参加者：セミナー 22名、個別相談会 3社



⑥ 中部ブロック事業者向け省エネセミナーの開催

中小規模事業者を対象として、中部ブロック地域センターが共同して、脱炭素支援セミナー（オンライン）を実施しました。

C:自治体職員、推進員等オピニオンリーダーに対する気候変動教育（人材育成）

⑦ 自治体職員、推進員等を対象とした「気候危機対策交流フォーラム」の開催

新しい国民運動」を展開し県民一人ひとりの暮らしの脱炭素化を推進するため、自治体担当者や推進員、市民レベルで活動している関係諸団体等オピニオンリーダーを対象として、「気候危機対策交流フォーラム」を開催し、相互の交流の機会とするとともに、啓発事業の企画・運営に関わる情報やノウハウを提供しました。

- ・日 時：令和6年1月11日 13:30~16:430
- ・場 所：ウインクあいち 11階 1101会議室
- ・参加者：55名



⑧ ドキュメンタリー映画「Wendy2~未来へのアプローチ」の上映会&トークイベント（2回）

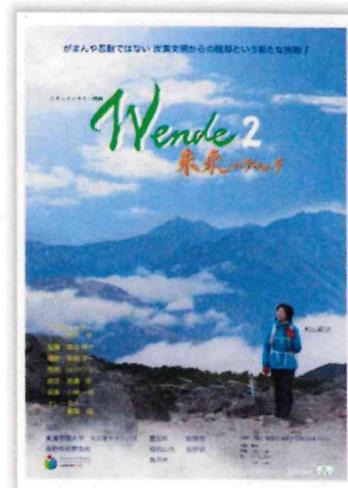
我慢や忍耐ではない、炭素文明からの脱却という新たな挑戦をテーマとするドキュメンタリー映画「Wendy2~未来へのアプローチ」の上映会と、映画監督（高垣博也氏）と出演者（杉山範子氏）、大府市環境課の職員によるトークイベントを大府市の職員研修会として2回実施しました。

●第1回

- ・日 時：令和5年12月21日 14:00~16:30
- ・場 所：大府市役所 地下1階 多目的ホール
- ・参加者：38名

●第2回

- ・日 時：令和5年12月26日 14:00~16:30
- ・場 所：大府市役所 地下1階 多目的ホール
- ・参加者：44名



⑨「新しい国民運動」推進研修会の開催

愛知県地球温暖化防止活動推進員の活動を支援するため、地球温暖化に関する最新情報を共有し、ともに地球温暖化防止について考える研修の場として推進員研修会を実施しました。

●第1回

- ・日時：令和5年10月30日 13:30~16:30
- ・場所：ウインクあいち 11階1101会議室
- ・参加者：39名

- ・講演「ひとりの100歩よりもみんなの一步」
フंक・カトリン 氏（NPO法人 HAPPY PLANET 代表理事）
- ・トークセッション「新しい国民運動『デコ活』～今日から私たちにできること～」
登壇者：フंक・カトリン氏、富田美咲氏（NPO法人 HAPPY PLANET 理事）
コーディネーター：原 理史 氏

●第2回

- ・日時：令和6年2月13日（土）15:00~16:30
- ・場所：ウインクあいち 12階1203会議室
- ・参加者：42名

- ・講演「自然エネルギー100%を目指す『持続可能まちづくり』」
浅野 剛博 氏（一般社団法人 自然エネルギー共同設置推進機構）

2. その他の取組み

⑩民間団体等の活動支援

愛知県内において地球温暖化防止活動に取り組んでいる民間の団体等の活動の実態を把握することを目的として、ヒアリング方式による調査を行いました。

【調査対象団体①】 Mugi ストローライフ岩倉

団体の概要・ 設立目的等	「Mugi ストローライフ岩倉」は、プラスチックストローの代替品として、麦わらストローを制作し、提案、販売を行っている愛知県岩倉市内の市民団体である。 「Mugi ストローライフ岩倉」は、マイクロプラスチックを削減し、環境保全、海洋生物の生態系を保全しながら、あわせて、遊休農地の活用に寄与することを目的として、大麦の種まきから、育成・麦踏み、刈取り、ストローおよびパッケージの制作、梱包、提案・販売活動、さらには使用済みの麦ストローの回収と再生を行っている。「Mugi ストローライフ岩倉」は、2022年に「愛知県SDGs登録制度」に登録されている。
設立	2020（令和2）年10月1日
構成員	12名（男性2名、女性10名）（2023年12月17日現在） 会表：林 智光 氏

主な活動内容	大麦のストローの製造・販売
連絡先	愛知県岩倉市八劔町淵之上 TEL : 0587-74-1455 e-mail : mugj_strawlife_iwakura@protonmail.com H P : https://mugjstrawlifeiwakura.com

【調査対象団体②】新城市薪生産協議会

団体の概要・ 設立目的等	<p>「新城市薪生産協議会」は、新城市の湯谷温泉加温配湯施設への木質バイオマスボイラーの導入（「湯谷温泉木質バイオマス熱利用事業」）にあたり、その燃料となる薪を長期かつ安定的に供給することを目的として、年間生産量や価格、集積場や必要機材、その他必要事項等を協議し、地域の合意形成を図るための組織である。</p> <p>「新城市薪生産協議会」のメンバーの有志で、地域から集めた木材を薪に加工し、それを燃料とする薪ボイラーの稼働管理を行う「合同会社フォレストエネルギー新城」が設立されている。</p>
設 立	<p>2015年 湯谷温泉木質バイオマス熱利用事業の事業化検討調査 開始</p> <p>2017年 新城市薪生産協議会 設置</p> <p>2018年 合同会社フォレストエネルギー新城 設立</p> <p>2019年 薪ボイラー稼働 開始</p>
構成員	<p>新城市(森林課、観光課)、愛知県、森林組合、素材生産業者、木の駅プロジェクト、温泉審議会が参加。「湯谷温泉木質バイオマス熱利用事業」を提起し、その検討調査を行った大西康史氏がコーディネーターを務めている。</p>
主な事業内容	<p>(事業化までの主な取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術調査 (未利用間伐材をどんな方法で使うのが良いか) ・需要調査 (未利用間伐材をどこで使えば良いか) ・供給可能量調査 (技術、需要先に適った材は集まるか) <p>(現在の取り組み) * 「合同会社フォレストエネルギー新城」が担う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用間伐材の薪としての活用 ・湯谷温泉の加温 (保温) のための薪ボイラーの稼働管理
主な活動場 所、連絡先	<p>〒441-1392</p> <p>新城市字東入船 115 番地 新城市産業振興部森林課内</p> <p>TEL : 090-4035-9794 (コーディネーター大西連絡先)</p> <p>e-mail : yasushi_ohnishi@m7.dion.ne.jp (コーディネーター大西連絡先)</p>

⑪日常生活に関する温室効果ガス排出抑制措置についての相談対応、助言

日常生活に関する温室効果ガス排出抑制のための相談窓口を設置し、日常的に相談及び助言等を行うとともに、問合せメール等を活用し、必要に応じて、より専門的な事項の相談に対しては適切な窓口の紹介を行うなど、照会及び相談等に応じる体制を構築し運営しました。

⑫地域の温室効果ガス排出に関する実態調査、情報収集・分析、成果の発信

「あいち地球温暖化防止戦略 2030～カーボンニュートラルあいちの実現に向けて～」(2022年12月改定)に関わる普及啓発と併せて、「新しい国民運動」の普及啓発を兼ねた家庭におけるエネルギー使用状況の把握、及び省エネ意識・行動に関するアンケート調査を実施しました。

開催日	開催地域	調査を実施した出展イベントなど	回収数
7月30日	田原文化会館・田原市総合体育館 (田原市)	田原市 SDGs フェスタ	50
9月16日	久屋大通公園 (名古屋市)	環境デーなごや	120
9月30日、 10月1日	豊田スタジアム (豊田市)	とよた産業フェスタ	63
10月5～7日	愛知県国際展示場 (AichiSky Expo) (常滑市)	SDGs AICHI EXPO 2023	7
サンプル数・計/n数			240

【調査結果の概要】

- 家庭の省エネ行動に関する全20項目の実施状況について尋ねたところ、多くの項目で「行っている」の割合が高くなっているが、「交通手段(できるだけ公共交通機関、徒歩、自転車を使う)」については<西三河地方><東三河地方>を中心に、「エアコン(室内温度の目安)」については居住地域に関係なく、「今後行うのは難しい」とする割合がやや高くなっている。(p7参照)
- 気候変動・省エネに係る14の事柄について、それぞれ知っているか否かをたずねた設問では、事柄によって、「知っている」の割合は大きく異なる。(p9参照)
- 「気候変動、省エネ等で知っていること」の項目数別に、「省エネ行動」を実施していると答えた項目数をみると、全体的に「知っている」とする項目数が多い人ほど、より多くの「省エネ行動」を実施していることが分かる。(p10参照)

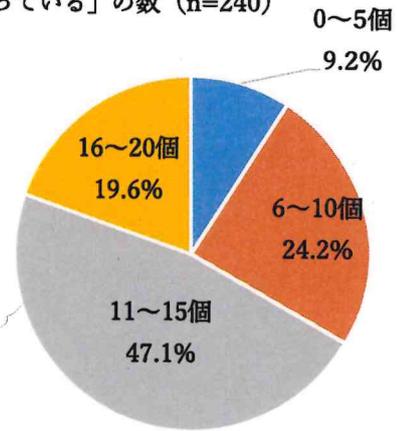
- 家庭の省エネ行動に関する全 20 項目の実施状況について尋ねたところ、多くの項目で「行っている」の割合が高くなっているが、「交通手段（できるだけ公共交通機関、徒歩、自転車を使う）」については<西三河地方> <東三河地方>を中心に、「エアコン（室内温度の目安）」については居住地域に関係なく、「今後も行うのは難しい」とする割合がやや高くなっている。

●省エネ行動の実施状況

		行っている	今後行いたい	今後も行うのは難しい	持っていない/該当しない	無回答
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する	68.3%	23.3%	5.0%	1.3%	2.1%
	2 食品を詰め込みすぎないようにする	58.3%	32.1%	7.5%	1.3%	0.8%
照明器具	3 白熱電球をLEDに取り替える	65.0%	25.0%	5.0%	1.7%	3.3%
テレビ	4 画面を明るすぎないようにする	63.8%	27.1%	3.3%	2.5%	3.3%
エアコン	5 室温は、冷房時は28°C、暖房時は20°Cを目安にする	58.3%	27.5%	10.8%	3.3%	0.0%
	6 フィルターを月に1～2回掃除する	29.6%	56.7%	7.9%	4.2%	1.7%
	7 室外機の日よけをしたり、風通しをよくする	52.9%	34.2%	7.1%	3.8%	2.1%
風呂（給湯器）	8 間隔をあけずに入浴する	63.3%	23.3%	8.3%	1.7%	3.3%
	9 シャワー（温水）を流しっぱなしにしない	70.4%	22.9%	2.5%	2.9%	1.3%
電気ポット	10 長時間使わないときは電源プラグを抜く	46.3%	30.8%	8.3%	12.9%	1.7%
自動車	11 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	65.4%	12.5%	2.5%	14.2%	5.4%
	12 走行中はできるだけ速度を一定に保つ	65.0%	13.3%	2.1%	14.6%	5.0%
	13 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	63.8%	15.0%	1.7%	14.2%	5.4%
家電製品	14 使わないときは、主電源を切る	46.7%	44.2%	8.8%		0.4%
	15 買い替えの際は、省エネ製品を選ぶ	66.7%	30.4%	2.1%		0.8%
窓	16 断熱（断熱フィルム、内窓等）、遮熱（すだれ、緑のカーテン等）対策を行う	52.5%	41.3%	5.0%		1.3%
食品	17 旬の野菜、果物、地元産の食材を選ぶ	68.8%	25.8%	5.0%		0.4%
	18 食品ロスを出さないように気をつける	78.8%	18.3%	2.1%		0.8%
交通手段	19 外出はできるだけ電車・バス、近くなら徒歩、自転車を使う	52.1%	32.1%	15.8%		0.0%
その他	20 毎月の光熱費や車の燃費性能をチェックする	54.6%	40.4%	4.2%		0.8%

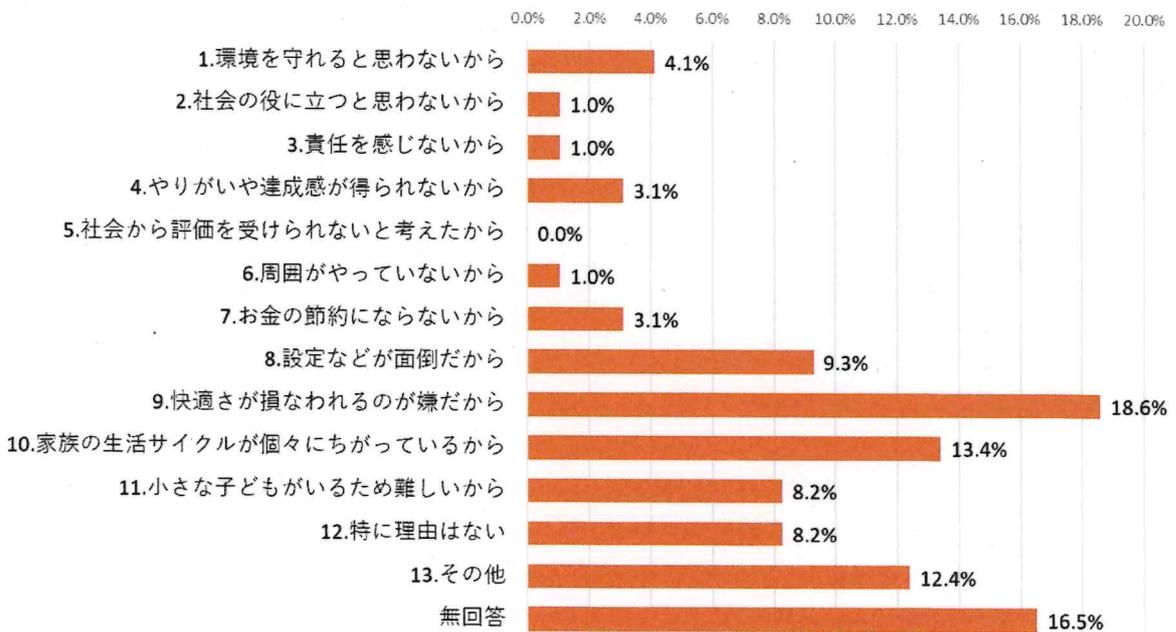
- 省エネ行動 20 項目の中で「行っている」と答えた項目の数をみると、回答者の 5 割弱が「11～15 個」の項目を実施していると答え、次いで、2 割強が「6～10 個」の項目を実施していると答えている。
- 省エネ行動 20 項目の中で「行っている」と答えた項目数のうち、「11～15 個」と「16～20 個」と答えた回答者を合わせると 7 割弱となっており、多くの省エネ行動が定着していると言える。

●省エネ行動の実施状況20項目で「行っている」の数 (n=240)



- 設問の省エネ行動 20 項目のうち 1 項目でも「今後も行うのは難しい」と答えた回答者 97 名を対象に、その理由（最大の理由 1 つのみを選択）についてたずねたところ、その理由は、「快適さが損なわれるのが嫌だから」が 2 割弱と最も多く、次いで「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」が 1 割強、「設定などが面倒だから」が 1 割弱となっている。
- 特に、「エアコン（室内温度の目安）」を「今後も行うのは難しい」と答えた回答者 26 名については、その 5 割弱にあたる 12 名が、また、「交通手段」を「今後も行うのは難しい」と答えた回答者 38 名の 3 割弱にあたる 11 名が、「快適さが損なわれるのが嫌だから」と回答している。

●「今後も行うのは難しい」を選んだ最も大きな理由(n=97)



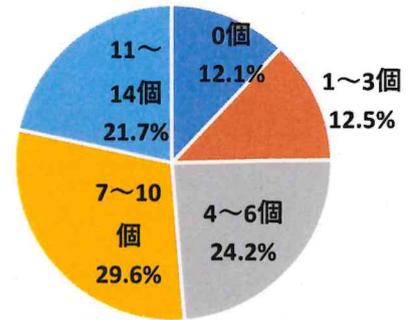
- 気候変動・省エネに関係する14の事柄について、それぞれ知っているか否かをたずねた設問では、「4.地球温暖化はSDGsにおいても重要な課題として位置付けられていること」「7.温暖化が進むと、夏の猛暑や大雨、台風がさらに激しくなったり…することを」「8.温暖化によって、農作物の収量が減ったり、味が落ちたりすることを」「9.温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを」については、7割近くの人が「知っていた」回答しており、認知度が高くなっている。
- 一方、「5.地球温暖化を予測した眞鍋淑郎さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを」については、5割を超える人が「全く知らなかった」と回答しており、認知度が特に低くなっている。また、「2.1.5℃未満という目標に対して、すでに1.1℃上昇していることを」「14.住宅の断熱によって、エネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを」については、4割弱の人が「全く知らなかった」と回答しており、認知度が低い。

●気候変動・省エネに関する認知度

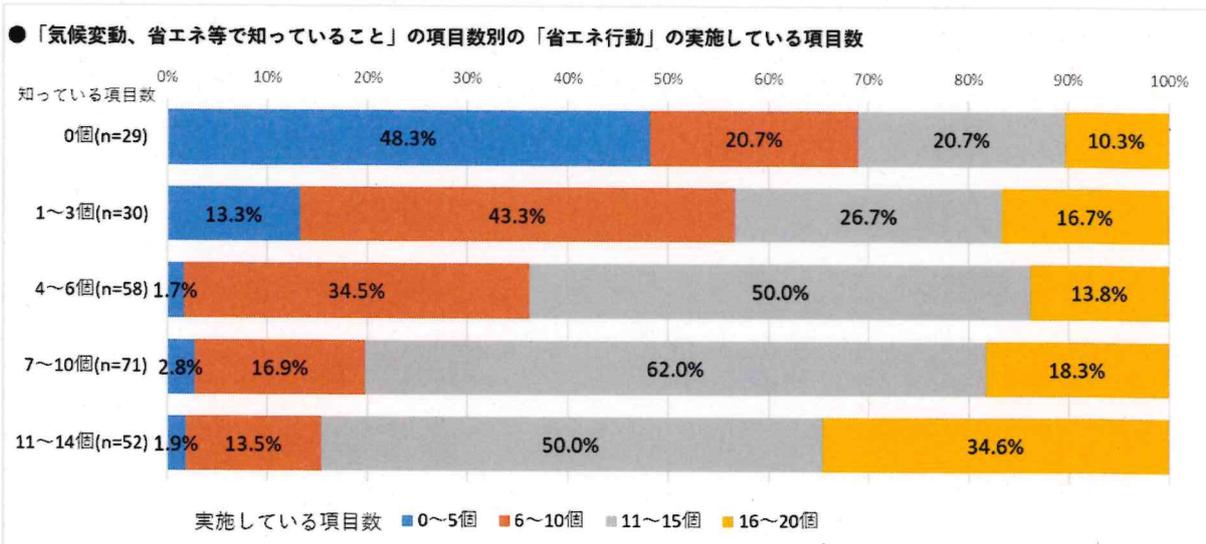
		知っていた	聞いたことはある	全く知らなかった	無回答
1	2015年のパリ協定で、気温上昇を+1.5℃未満に抑えるという目標が定められたことを…	34.2%	39.2%	26.3%	0.4%
2	1.5℃未満という目標に対して、すでに1.1℃上昇していることを…	31.7%	31.3%	35.4%	1.7%
3	世界各国で脱炭素が表明されており、わが国も「2050年カーボンニュートラル宣言」（温室効果ガスの排出を実質ゼロにする）を表明したことを…	40.8%	37.1%	21.3%	0.8%
4	地球温暖化は、SDGs（持続可能な開発目標）においても重要な課題として位置付けられていることを…	68.8%	22.1%	7.1%	2.1%
5	地球温暖化を予測した眞鍋淑郎（まなべしゅくろう）さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを…	17.1%	29.2%	52.1%	1.7%
6	何の対策もしなければ、日本の年平均気温は今世紀末には最大で4.5℃上がると予測されていることを…	27.9%	39.2%	30.8%	2.1%
7	温暖化が進むと、夏の猛暑や大雨、台風がさらに激しくなったり、暑さによる熱中症や感染症が増えたり、大雨による土砂災害や水害が増えると考えられていることを…	69.6%	20.4%	8.8%	1.3%
8	温暖化によって、農作物の収量が減ったり、味が落ちたりすることを…	67.1%	23.3%	7.9%	1.7%
9	温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを…	70.0%	22.1%	6.7%	1.3%
10	温暖化が社会、経済、健康などに及ぼすリスクは、気候危機と呼ばれるほど深刻になってきていることを…	60.8%	29.2%	8.3%	0.0%
11	温暖化によって生じた多くの変化（海洋、氷床、海面上昇）は不可逆的である（元に戻せない）ことを…	55.8%	30.0%	13.8%	0.0%
12	家庭で消費電力量が大きい家電は、①冷蔵庫、②照明器具、③テレビ、④エアコンであることを…	50.4%	31.7%	16.3%	0.0%
13	10年前に比べると、家電製品によっては3割から8割も電気代がお得（冷蔵庫43%、テレビ32%、照明器具（白熱灯→LED）86%）であることを…	47.1%	38.3%	14.2%	0.0%
14	住宅の断熱によって、エネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを…	27.1%	35.4%	37.5%	0.0%

- 14の事柄のうち「知っていた」と答えた項目の数をみると、<7~10個>の項目を知っていた回答者が3割、次いで<4~6個>の項目を知っていた回答者が2割強となっている。
- 14項目のうち半数の7個以上を知っていた回答者は全体の5割となっている。

●気候変動、省エネ等に関する認知度14項目で「知っていた」の数 (n=240)



- 「気候変動、省エネ等で知っていること」の項目数別に、「省エネ行動」を実施していると答えた項目数をみると、全体的に「知っている」とする項目数が多い人ほど、より多くの「省エネ行動」を実施していることが分かる。



⑬愛知県温暖化防止活動連絡調整会議の開催

愛知県センターが行う事業について、関係機関との連絡調整を行うとともに、各機関の当該年度にかかる事業の計画、進捗状況、成果等について情報共有・意見交換等を行うため、「連絡調整会議」を開催しました。

●第1回

日 時：令和5年7月27日 13:30～16:00

場 所：ウイंकあいち 11階 1109会議室

●第2回

日 時：令和6年2月13日 13:00～14:30

場 所：ウイंकあいち 12階 1205会議室

自治体「SBT 認証取得支援事業」と連携した 「ウォークスルー診断」による省エネ支援事業

中小規模事業者の脱炭素経営支援を行うとともに、気候危機対策に基づく意識・行動変容を促し、日常生活・通勤等でのCO2排出抑制はもちろん、企業活動を通じた中小規模事業者のCO2排出量削減に貢献することを目的として、岡崎市及び周辺地域を対象に、岡崎市の「中小企業向け SBT 認証取得支援事業」と連携した「ウォークスルー診断」による省エネ支援を実施しました。

【事業1】地域連携体制の構築：事業者支援調整連絡会の開催

「ウォークスルー診断」による省エネ支援事業の実施に当たって、地元自治体の岡崎市を始め地域関係者と地域連携体制を構築し、「事業者支援調整連絡会」を開催しました。

●第1回

日 時：令和5年8月2日 13:00～13:30

場 所：岡崎商工会議所 4階 特別会議室

●第2回

日 時：令和6年2月15日 14:00～15:30（予定）

場 所：岡崎商工会議所



【事業2】「SBT 認証取得支援」連携セミナー&講座：セミナー・講座の開催

岡崎市及び周辺地域の事業所関係者を対象に、「2050年カーボンニュートラル」に向けた世界・日本の動きを示すとともに、中小規模事業者の「SBT 認証取得」や「CO2排出量削減」等省エネ取組の推進を図るため、エネルギー効率化の経営メリットや社会貢献に関する理解を深める「中小企業向け SBT 認証取得支援事業」連携セミナー&連携講座を開催しました。

●セミナー

日 時：令和5年8月2日 14:00～17:00

場 所：岡崎商工会議所 1階 大ホール

対 象：岡崎市および近隣市町村の事業所関係者

参加者：44名



第1部 省エネセミナー

1. 岡崎市における「SBT 認証取得支援事業」について
岡崎市環境部ゼロカーボンシティ推進課 椎 龍也 氏
2. どうする? 「わが社の脱炭素経営と見える化」
中部大学中部高等学術研究所 原 理史 氏
3. 「運用改善、そして設備更新」による省エネ手法
エネルギー管理士 大河内 敏博 氏
4. 「省エネ機器導入」と補助金の活用
エネルギー管理士 田中 茂男 氏

第2部 個別相談会

●講座

日 時：令和6年1月31日 14:00~16:00

場 所：岡崎商工会議所 1階 大ホール

対 象：岡崎市および近隣市町村の事業所関係者

参加者：35名



第1部 オープン講座

趣旨説明 原 理史 氏 (中部大学中部高等学術研究所)

1. 運用による省エネをどのように行うか

▶ 事例紹介：運用による省エネとその効果

話題提供：大河内 敏博 氏 (エネルギー管理士)

▶ ワークショップ：運用による省エネに必要な体制と実施の課題

ファシリテーター：原 理史 氏

グループアドバイザー：大河内 敏博 氏、田中 茂男 氏

2. 機器更新による省エネをどのように行うか

▶ 事例紹介：機器更新による省エネとその効果

話題提供：田中 茂男 氏 (エネルギー管理士)

▶ ワークショップ：機器更新による省エネに必要な体制と実施の課題

ファシリテーター：原 理史 氏

グループアドバイザー：田中 茂男 氏、大河内 敏博 氏

第2部 個別相談会

【事業3】「SBT 認証取得支援」連携相談会：省エネ個別相談会の開催

希望する中小規模事業者を対象に、岡崎市の「中小企業向け SBT 認証取得支援事業」と連携し、具体的な省エネ方法や脱炭素経営等に関する省エネ個別相談会を実施しました。

●第1回

日 時：令和5年8月2日 16:00~17:00

場 所：岡崎商工会議所 1階 大ホール

対 象：岡崎市および近隣市町村の事業所関係者

参加者：6社

●第2回

日 時：令和6年1月31日 16:00~17:00

場 所：岡崎商工会議所 1階 大ホール

対 象：岡崎市および近隣市町村の事業所関係者

参加者：3社



【事業4】「SBT 認証取得支援」連携事業：訪問ウォークスルー診断による支援

省エネ取組みに意欲のある中小規模事業者を抽出・選定し、技術士やエネルギー管理士などの専門家が現場に個別訪問し、ウォークスルー診断(簡易診断)を実施しました。また、その診断結果を元に、中小規模事業者の「SBT 認証取得」や「CO₂ 排出量削減」等、省エネ取組の推進に向けて、省エネを具体化する助言や提案を行いました。



	企業名	業種	診断日・ 報告会	診断のポイント	専門家
1	株式会社 M 商会	廃棄物 関連	11/14 1/12	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度に、経産省のお助け隊の省エネ診断を受診済み。(SBT 認証取得に向け、取組中) ・今回は、今後ライン増設予定があり、エネルギー使用状況が変わることが予想され、現状のエネルギー使用状況確認と改善策を知りたいとのこと。 	山田章貴 /原 理史
2	O株式会社	産業廃棄物 処理	10/13 2/21 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業所は、産業廃液の処理工場。使用エネルギーはA重油、電力が主。A重油は廃液蒸留装置の加熱蒸気の発生用ボイラー燃料で7割程度。 ・廃液蒸留装置を中心に、診断を実施。 	大河内敏博 /原 理史
3	株式会社 S	設備保全	11/8 12/22	<ul style="list-style-type: none"> ・「SBT 認証」取得に向けて、CO2 削減対策推進中。 ・CO2 削減対策として、①空調機の更新、②自己消費の太陽光の設置、③休日・夜間の操業停止時の電力削減 	田中茂男 /原 理史
4	有限会社 T	製造	11/1 2/21 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用エネルギーは、電気とLPガスで構成。電気は、照明、空調、動力で使用。LPガスは、GHP空調と塗装乾燥炉で使用。 ・診断は、空調、コンプレッサー、塗装乾燥設備、周辺機器を中心に実施。 	大河内敏博 /原 理史
5	株式会社 A 商店	製造	9/15 11/16	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、事業者支援事業で額田工場を受診済み。 ・工場の照明、空調機、コンプレッサーが省エネ対策設備。 	田中茂男 /原 理史
6	株式会社O商店	食品関連	11/14 1/12	<ul style="list-style-type: none"> ・対象工場が竣工4年目と新しく、設備も高効率の設備(空調、照明等)を採用。(LPGは、すべてガス空調(GHP)で使用) ・今後、エネルギー単位の設定とその把握、管理の検討が必要。 	山田章貴 /原 理史
7	株式会社 S	ガス・石油 等販売	11/16 12/22	<ul style="list-style-type: none"> ・既に、SBT 認証済みであり、積極的にCNに取組んで2030年に2020年度比46.4%削減目標。 ・運用改善による省エネ・CO2削減の実施を目指している。 	田中茂男 /原 理史
8	株式会社T製作 所	製造	11/7 12/14	<ul style="list-style-type: none"> ・既に、SBT 認証済みであり、積極的にCNに取組んでいる。(納入先のモデル事業所として、CNに係わる実証実験に参加している。) ・今回の省エネ対象は、コンプレッサー、空調、工作機械等である。 	大河内敏博 /原 理史
9	有限会社 N 工業	製造	11/15 1/12	<ul style="list-style-type: none"> ・「SBT 認証」取得に向けて、CO2 削減対策推進中。 ・事業所内のエネルギーはすべて電気。「電力使用量の見える化」の推進。CO2 削減対策として、①成形機の待機電力の削減及び保温対策、②コンプレッサー吐出圧力、③クーリングタワーファンの温度調節 	山田章貴 /原 理史
10	株式会社 H	製造	10/31 12/21	<ul style="list-style-type: none"> ・製造内容は、創業以来の石材加工が20%、金属加工が80%程度。 ・今回の省エネ対策は、①待機電力の削減、②変圧器の更新、③自家消費の太陽光設置、④電力の見える化 	山田章貴 /原 理史

愛知県との連携による地球温暖化防止の主な取り組みについて

1.地球温暖化防止活動推進員の支援

①市町村の環境イベントへのブース出展に対する支援

- ・市町村の環境イベントへのブース出展に際して、各種資材の管理・送付等の支援を行いました。



②ストップ温暖化教室に対する支援

- ・ストップ温暖化教室の開催に際して、各種資材の管理・送付等の支援を行いました。



2.夏休み！おうちでエコアップ大作戦

「あいち COOLCHOICE」県民運動の一環として、今年度も、県内の小学生を対象に「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を行いました。「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」は、夏休みに家族みんなで地球温暖化防止に取り組むプロジェクトで、取り組んだ結果をチェックシートに記録して提出してくれた児童に参加賞や「エコ家族認定証」を贈りました。



令和6年度 愛知県地球温暖化防止活動推進センターの取り組みについて

愛知県地球温暖化防止活動推進センター
(一般社団法人環境創造研究センター)

1. フードロス&生ごみダイエットによるCO₂削減事業【デコ活：④買・食/⑦基盤】

「デコ活④【買・食】地産地消・食べきり（食品ロス対策）、ごみの削減・分別（資源循環）」に関わる、CO₂排出量削減につながる行動変容を促すため、以下を実施します。

① 愛知県推進員による“フードロス&生ごみダイエット”モデルの実施（推進員検討会の開催）

推進員の家庭を対象として、食に関わるごみの量や処理の方法を確認するとともに、様々なごみの減量方法に取り組んでもらう“フードロス&生ごみダイエットキャンペーン”を行い、一般家庭で毎日無理なく続けられる生ごみの乾燥方法等について検討します。

② “フードロス&生ごみダイエット”水平展開の実施（中部ブロック合同会議）

中部ブロック合同検討会において、“フードロス&生ごみダイエットキャンペーン”によるCO₂排出量の削減効果を確認します。その知見に基づいて、一般市民に食に関わるごみの減量や生ごみ脱水の習慣を根付かせるための方法やライフスタイル変容を促すための方法の検討を行います。

③ 自治体と連携したイベントにおける“フードロス&生ごみダイエットキャンペーン”

自治体が主催する環境イベントにおいて、生ごみダイエット方法のデモンストレーションを行い、家庭の食に関わるごみの減量や生ごみ脱水の習慣がどのくらい根付くか、行動変容についてアンケート調査を行います。

- ・名古屋市：「環境都市なごや〜環境ディなごや〜」
(9月14日(土))
- ・豊田市：「とよた産業フェスタ」
(10月5日(土)、6日(日))
- ・田原市：「田原エコフェスタたはら」
(7月28日(日))
- ・愛知県：「SDGs AICHI EXPO 2024」
(10月10日(木)~12日(土))

“フードロス&生ごみダイエットキャンペーン”パネル

家庭の生ごみをダイエットして地球温暖化のもとになるCO₂を減らそう!

回収した燃えるごみからあふれ出す水（北名古屋市）

燃えるごみの約4割が生ごみ
生ごみの約8割は水分
“燃えるごみ”の約半分は、
3〜4割は燃えない水!?

家庭から出す“燃えるごみ”
に水が入っていると、ごみを
燃やすのに余分な燃料が使わ
れ、税金がかかるだけでなく、
たくさんCO₂を出すことにな
ります。

生ごみの水分を減らすと、どれくらいCO₂を減らすことができる?

生ごみ1%の焼印に使う
燃料からCO₂が約2%排出さ
れます。

生ごみの水分を減らすと、
ごみ量が軽くなるだけでなく
臭いも減り、地球温暖化防止
にも役立ちます。

CO₂排出量(焼印1枚あたり)
100% 80% 60% 40% 20% 0%

生ごみの含水率(%)
100% 80% 60% 40% 20% 0%

CO₂排出量を約7割削減できる

生ごみをコンポスト
処理するとCO₂排出量
を約5割削減できる

やってみよう!

行動1：生ごみが濡れないようにシクまわりを見直す!
□排水口に生ごみ入れがある場合は、洗い受け皿にする
□シクの外に生ごみ入れを置き、濡れないようにする

行動2：生ごみの水分を絞る・乾かす!
□三角コーナーや排水口の生ごみはごみの日に乾かして出す
□新聞紙で作った生ごみ入れで自然乾燥させる
□ごみの日まで風通しの良いところに置く
(天日干しやエアコン室外機の下でできるだけ乾かす) など

新聞紙に入れ自然乾燥させる例

100%乾かしている
生ごみは新聞紙に入れ
たてのラップに蓋

「地域における地球温暖化防止活動推進事業」愛知県地球温暖化防止活動推進センター

アンケート名：「食ロスや生ごみ削減実践アンケート」にご参加ありがとうございます。

食品ロス&生ごみ削減実践アンケート

わかる範囲でお答えください。右側のQRコードで、スマホからも回答できます。

1. あなた自身について
 お住いの市町村 ()
 性別 男性 女性 無回答
 年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
 生活スタイル 一人暮らし 一人暮らし以外 () 人世等

2. これまでに知っていたことを選択してください。
食品ごみの焼却や埋め立てが地球温暖化の一因になっている。
水分を多く含む生ごみの焼却には、より多くのエネルギーと処理費用がかかっている。また、より多くのCO2が発生している。
生ごみを効果よく燃やすためにプラスチックごみを一緒に燃やすことがあり、プラスチックのリサイクルが遠まなしい一因となっている。
上記のいずれも知らなかった。

3. 市民が食品ロスや生ごみの水分を減らすことを習慣化するために最も効果的と思うことを二つ選択してください。
食品ロスや生ごみの関心を高める機会（イベントや学校での授業など）を増やす。
ゴミ焼却場の見学などを増やす。
現金を使って生ごみ排水用の水切り紙袋などを市民に配布する。
現金を使って生ごみ処理機（コンポストなど）の購入補助金を出す。
燃えるごみの指定袋をゴミの量に応じて高い値段（量課金制）にする。
その他（アイデアを記入してください）。

4. ご家庭の生ごみについて当てはまるものを選択してください。
ご家庭の生ごみは、資源回収に出すか自宅で肥料にしている。
ご家庭の生ごみは、「燃えるごみ」として出している。
ゴミ袋に入れる前に、生ごみの水分を減らす取り組みをしている。
特に何もせず、濡れた生ごみを「燃えるごみ」の袋にそのまま入れている。
 ★一週間に出す生ごみの量を三角コーナー（ナイロン袋一つ分、約1ℓ）で測ると、
 おおよそ、 0.5ℓ分 1ℓ分 1.5ℓ分 2-3ℓ分 3ℓ分以上

★生ごみ入れは、
流し（シンク）の排水口の生ごみ入れを使っている。
シンクの中に三角コーナーや生ごみ用メッシュ袋、紙袋などを置いている。
シンクの外に生ごみ入れを置いている。
ナイロン袋など、水切りできない袋に入れている。
水がしみる紙製（お手製の新聞紙袋なども含む）などに入れている。
その他（どのように生ごみを入れているか記入して下さい）。

アンケート名：「食ロスや生ごみ削減実践アンケート」にご参加ありがとうございます。

食品ロス&生ごみ削減実践アンケート

わかる範囲でお答えください。右側のQRコードで、スマホからも回答できます。

5. CO2を出さずに生ごみの水分を減らす方法には以下のようなものがあります。無理なく続けられると思う方法を選択してください（複数可）。

1. 生ごみを新聞紙やキッチンペーパーで包み、乾燥させる。
 2. シンクの外に生ごみ入れを置き、自然乾燥させる。
 3. シンクの中に生ごみ入れを置き、自然乾燥させる。
 4. シンクの中に生ごみ入れを置き、水切り紙袋などを入れて乾燥させる。
 5. シンクの中に生ごみ入れを置き、水切り紙袋などを入れて乾燥させる。
 6. シンクの中に生ごみ入れを置き、水切り紙袋などを入れて乾燥させる。
 7. シンクの中に生ごみ入れを置き、水切り紙袋などを入れて乾燥させる。
 8. シンクの中に生ごみ入れを置き、水切り紙袋などを入れて乾燥させる。
 9. シンクの中に生ごみ入れを置き、水切り紙袋などを入れて乾燥させる。
 10. シンクの中に生ごみ入れを置き、水切り紙袋などを入れて乾燥させる。

6. 地球温暖化を防ぐためにお伺いします。
 食品ロスや生ごみのために余分なCO2が出ていることを理解した。 はい いいえ
 今後は、食品を使い切り、生ごみを減らそうと思う。 はい いいえ
 今後は、5. で選んだ方法で生ごみの水分を減らそうと思う。 はい いいえ

自由記述欄（食品ロスや生ごみダイエットによるCO2削減について、ご意見を頂けると幸いです）

★ご協力ありがとうございました。 新加坡地球環境教育センター

“フードロス&生ごみダイエットキャンペーン”アンケート調査票

2. 多様な主体別のエコグッズ選択・購入支援事業【デコ活：②住（内） / ⑦基盤】

子ども、親子、自治体職員、推進員等、様々な主体を対象とするイベント開催し、エコグッズ（LED 等高出力照明、節水シャワーヘッド、節水アダプタ）やエコな日常行動（クールビズ・ウォームビズ、マイバッグ・マイボトル等）の選択、導入の働きかけを行います。また、その選択行動のセルフチェックシートを配布し、回収、結果のフィードバックを行うことにより行動変容を促し、CO₂ 排出量を削減します。

<対象：親子、子ども>

- ① X博士の「子ども省エネ教室」の開催（2回）
- ② 地球温暖化防止「親子サイエンスカフェ」の開催（2回）



写真は昨年度のイベント

3. 自治体「地域密着型事業」と連携した事業者脱炭素経営支援【デコ活：⑧事業者】

愛知県（岡崎市）内の中小規模事業者に対して、脱炭素経営支援を行うとともに、気候危機対策に基づく行動変容を促すことにより、企業活動を通じた中小規模事業者のCO₂排出量削減に貢献することを目指します。

- ① 岡崎市との地域連携体制の構築：「事業者支援連絡会」の開催(2回)
- ② 中小規模事業者向け「省エネセミナー&個別相談会」の開催(各1回)
- ③ 専門家による事業者「省エネ診断」の実施(6社)



写真は昨年度の省エネ診断

4. 愛知県との連携による地球温暖化防止の主な取り組みについて

1. 地球温暖化防止活動推進員の支援

① 市町村の環境イベントへのブース出展に対する支援

市町村の環境イベントへのブース出展に際して、各種資材の管理・送付等の支援を行います。

② ストップ温暖化教室に対する支援

ストップ温暖化教室の開催に際して、各種資材の管理・送付等の支援を行います。

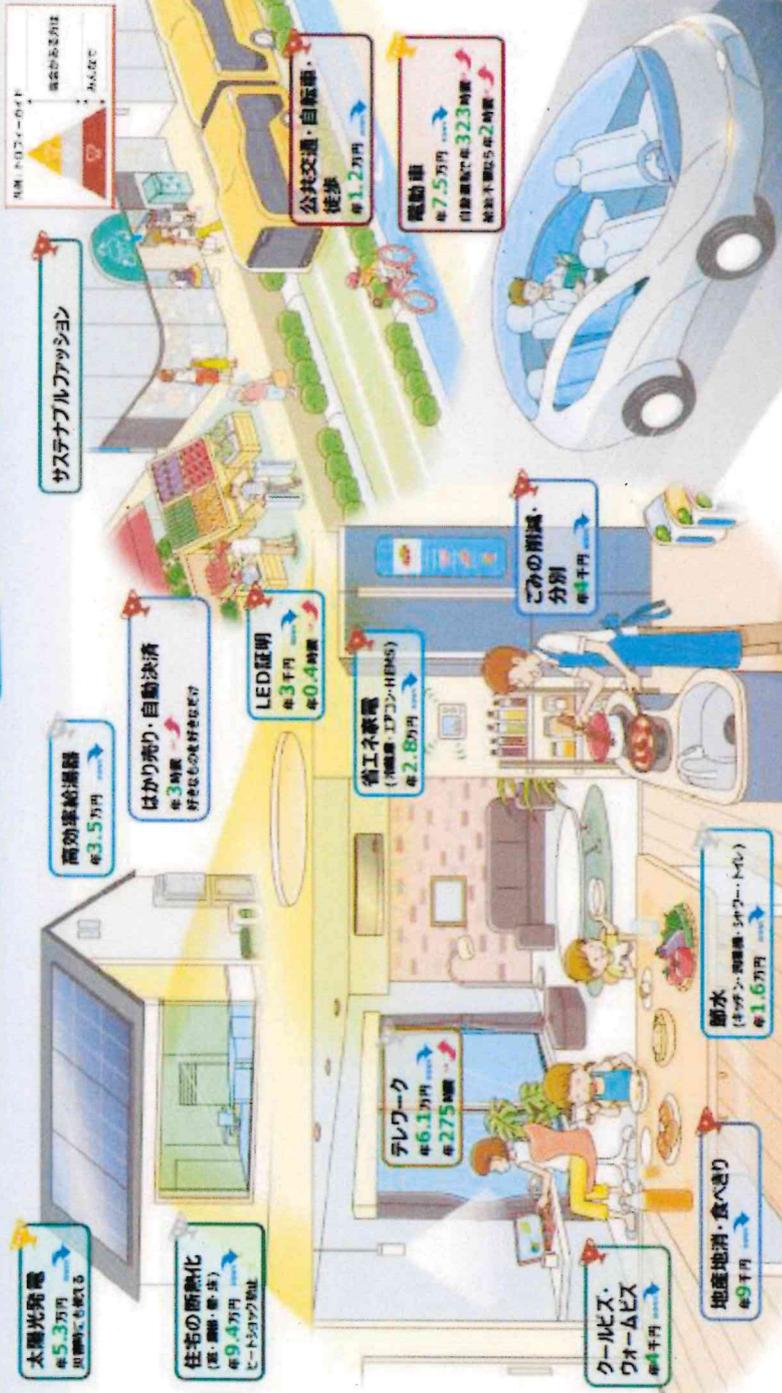
2. 夏休み！おうちでエコアップ大作戦

「あいち COOLCHOICE」県民運動の一環として、今年度も、県内の小学生を対象に「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を行います。「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」は、夏休みに家族みんなで地球温暖化防止に取り組むプロジェクトで、取り組んだ結果をチェックシートに記録して提出してくれた児童には参加賞や「エコ家族認定証」を贈ります。



ロードマップのスコープ (暮らし全領域を大きく7分野に)

脱炭素 につながる 新しい豊かな暮らしの10年後



- ① 住【外】 住宅の省エネ化・再エネ導入 (断熱化、太陽光発電等)
- ② 住【内】 エコグッズの選択 (LED、家電、給湯、節水等)
- ③ 衣 クールビス、ウォームビス、サステナブルファッションの実践
- ④ 買・食 地産地消、適量購入・食べきりごみの削減・分別
- ⑤ 購 テレワークの実践
- ⑥ 移 電動車の購入 (環境負荷がより少ない移動手段の選択)
- ⑦ 暮らし 情報(教育・ナッジ)インセンティブ

太陽光発電
年5.3万円
削減効果も大きい

高効率給湯器
年3.5万円

サステナブルファッション

住宅の断熱化
(窓・壁・床・天井)
年9.4万円
ヒートショック防止

はかり売り・自動決済
年2時間
好きなのを好きなだけ

LED照明
年3千円
年0.4時間

クールビス・ウォームビス
年4千円

省エネ家電
(冷蔵庫・エアコン・洗濯機)
年2.8万円

公共交通・自転車・徒歩
年1.2万円

テレワーク
年6.1万円
年2.75時間

ごみの削減・分別
年1千円

電動車
年7.5万円
自動車に比べ年32.3時間
削減効果は5年2時間

地産地消・食べきり
年9千円

節水
(シャワー、洗濯機、トイレ)
年1.6万円

電動自転車
年2.2万円

公共施設
年1.2万円

毎月3万6千円浮きます (年43万円) 一日プラス1時間以上を好きなきごとに (年388時間)